

令和3年7月1日

会長のはなし

Vol.3

皆さんこんにちは、会長です。

梅雨に入り毎日のように雨が降り続いてますね。雨が降った際、子どもたちが傘をさして並んで歩く姿を見かけます。大変危険なので、並んで歩かないようにご家庭でもご指導願います。



さて今回は、「PTA活動のメリット・デメリット」についてお話しします。今回もあくまで私見ですので、万人に当てはまることではないかもしれませんが、ご参考にいただければ。

メリット



Point 01

子どもたちの普段の様子が見れる

PTA活動で学校に足を運ぶようになると、子どもたちの素の姿を見る機会ができます。活動のついでにこそっと教室を覗いたり、休み時間の様子なども見れます。また、授業内で作成した絵や作品などもゆっくりと見ることができます。授業参観のときは、他の保護者さんも

たくさんいますので、なかなか我が子の様子や作品をゆっくりと見ることは難しいですね。活動の合間などの時間を有効に活用して、ぜひ子どもたちの様子を見てほしいです。



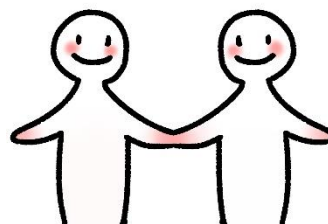
Point 02

親同士の横の繋がりが増える

親としての最大のメリットだと思います。初めてのお子さんの場合、保護者の皆さんにとっては学校の情報を得る機会ってなかなかないですね。学校行事のことや、先生のこと、子どもの習い事など、知りたいことは沢山あっても、知り合いのお父さんお母さんがいなくて誰に聞いていいのやら・・・なんて経験、ありませんか？

我が家も上の子が入学した際、わからないことだらけでしたが、幸い PTA を通じて知り合えた方々に具体的な話をいろいろと聞けたおかげで、困ることは少なかったです。聞けたことで、『え、それホントに？』ということも多少ありましたが・・・。

同級生以外の保護者さん、特に高学年の保護者さんと知り合いになれたことで、今後の展望が開けたといえますか、色々なお話がきけてすごくタメになりました。



Point 03

先生との繋がりができて、気軽に話が聞けるようになる



先生方の視点から考えてみます。先生方は、担任としてたった一人で約30人の子どもたちを見てくれています。当然その親もほぼ同じだけいるわけです。子どもたちとは毎日顔を合わせているから、顔を覚えてもらえていますが、保護者の顔となると、先生方も覚えきれないところがあると思います。何もなければ基本授業参観の時や個別面談のときくらいしか、先生と保護者さんが顔を合わせる機会はありません。何か聞いてみたいことがあったとき、いきなり職員室に入って行って先生に話をするのは、とてもハードルが高いでしょう。そんな時にPTA役員（本部でもクラス役員でも）になっていれば、先生方も「〇〇君のお父さん、□□さんのお母さん」というように認識してくれるので、顔見知りになれます。子どものことや気になったこと、気軽に話しかけられるようになるし、子どものことも自然と気にかけてくれるようになる、と思います。

Point 04

単純に我が子が喜ぶ



親がいないことが当たり前前の学校で、自分の親に会ったとき、意

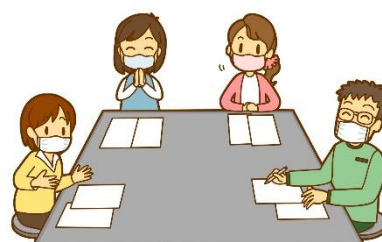
外と子どもたちは喜ぶますよ。低学年のうちは特に。私自身、会長として学校に行く機会のほか、図書ボランティアの読み聞かせて学校にお邪魔したりもしてます。子どもたちからすると、自分の親がお友だちの前で（今は校内放送ですが）読み聞かせをしたり、お話をしている姿はうれしいことのように、いつも家に帰ってきて嬉しそうに「今日学校来てたでしょ？」などと話をしてくれます。同級生からも、「〇〇君のお父さんじゃん！！」というような感じで話しかけられて、鼻が高いようです。

自分のこどもに、親が学校のために活動している姿を見せるということも、大事な教育の一つなのかなと思います。よく言いますよね、「親の背中を見て子は育つ」って。



デメリット

1 自分の時間が取られる



デメリットとして一番あげられるのはこれかなと思います。活動のため、学校に出向いたり、作業により時間を割かなければいけないこともあります。また、PTA活動は主に平日に行っているため、働いているお父さんお母さんにとっては、わざわざ休みを取らなけ

ればいけないというのは、大きな弊害にもなり得ます。職場の理解も必要となりますし、子育て休暇の取れないかたにとっては、大事な有休を使わなければならなくなる、そうなるとなかなか敷居が高くなってしまふのかなと思います。また、たとえ働いていないお母さんであっても、平日の午後であれば未就学児にお子さんがいれば保育園や幼稚園の迎えがあったり、家事も忙しくなる時間帯です。時間を割くのは一苦勞だと思います。



2 人間関係に悩む

私のように、10秒あればだれとでも友達になれるような人間にとってはそうでもありませんが、大半の保護者さんには、初対面の方や大勢の前で話すことは苦痛かなと思います。また、その日初めて会った人と、よく内容のわからない活動について話をしたり、意見を求められたり・・・苦手な人にとってはやはり苦痛ですよ。



3 真面目に取り組む人が割を食う

専門委員会でありがちな話ですね。

6年間のうちに役員やらなきゃだから、とりあえず今年やって

おこう・・・。

委員会の委員長決め、誰か手をあげてくれないかなあ・・・。

誰もいない・・・、はあ、じゃあじゃんけんで。

・・・結局じゃんけんに負けて委員長になってしまった・・・ど

うしよう・・・。



だいたいほぼ毎日起こり得るお話です。PTA あるあるですね。

経緯はともかく、委員長や副委員長になってくれた方は、必ず責任感を持って仕事をしてくれます。ただ、委員長になったからと言って、人前でお話しするのが得意になるわけではありません。たまたま同じ委員会になった方に、「あれやって下さい、これやって下さい」なんて言いにくい、結局自分でやるしかない・・・。

こんな負のスパイラルに陥った方、これまでにきっと何人もいると思います。役員になったけど、名前だけで一度も集まりに来なければ、連絡もしても返事もない、なんて方もいたようです。その方の負担も、真面目に取り組んでくれている方が負うことになります。



今回は、メリット・デメリットについてお話ししました。メリットはいろいろと浮かびますが、デメリットはあまり浮かばないなあ、思っていたんですが、結局、その少ないデメリットの一つひとつが大きな弊害になるんだなあと感じました。

ただ、デメリットはほおっておけばただの弊害ですが、プラスに考えれば、改善の余地があるということです。それをどうにかできれば、PTA もより身近に、より参加しやすくできると思うんです。デメリットをなくして、メリットをみんなで分かち合う、そんな PTA にしていきたいですね。

